

# US-1000

## ユーザーズマニュアル

ユーアイニクス株式会社

### ■ 目次

概要

特長

動作環境

インストール

接続

起動

準備

操作

アンインストール

仕様

接続ケーブル結線図

カスタマイズについて

お問い合わせ

### ■ 概要

US-1000 は計測器からのデータを受信し、Microsoft Excel（以下 Excel）のシート上のセルに取り込む、データロガーユーティリティです。RS-232C から US-1000 を経由して取り込まれたデータは、Excel で集計、分析、グラフ化、印刷などの処理を行うことができます。データの取り込みは US-1000 を起動し、計測器との通信条件、Excel の Book、Sheet、セルの範囲を設定し、[実行] ボタンをクリックすることにより行われます。データの取り込みが終了したら、Excel を操作して取り込んだデータの集計、分析等が可能になります。また、VBA (Visual Basic for Application: Excel の高機能マクロ言語) で操作、処理を登録しておくことにより、集計、分析のプログラム化も可能になります。

## ■ 特長

US-1000 の特長として次の点があげられます。

1. 通信条件、計測器、セルの範囲等を登録することにより、2 回目からはボタンをクリックするだけで誰でも簡単に使用できる。
2. 実行、中断もボタンのクリックでできるので、テストが簡単にできる。
3. データ加工、分析には Excel を利用するので、操作が簡単。
4. ノンプログラミングで操作するだけでデータロガーを使用できるので、テスト、プロトタイプとしても利用できる。
5. データを Excel のシートに取り込むので、Windows の他のアプリケーションからも DDE、OLE を介してデータの利用が可能である。

Excel と併わせて使用することにより、簡単に使え、操作によっても、また VBA を使ったプログラミングによるデータの集計、分析等の自動化もでき、データ加工が容易なフレキシビリティの高いデータロガーが構成されます。

## ■ 動作環境

Microsoft Windows95/98/2000 で動作します。

Windows95/98/2000 上で Microsoft Excel8.0(Excel97) 及び

Microsoft Excel8.0(Excel2000) が動作するパーソナルコンピュータ

必要メモリ容量 16MB

必要ハードディスク容量 6MB

※計測データファイルをハードディスクに保存する場合はさらに容量が必要です。

## ■ インストール

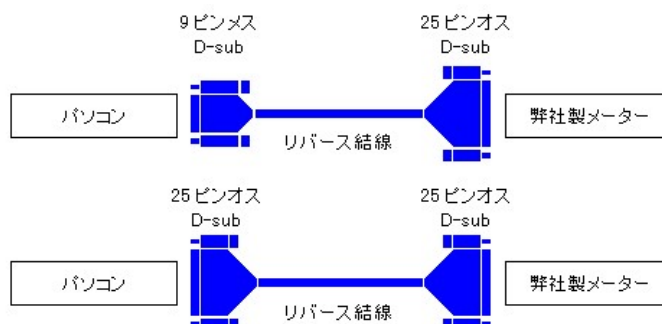
1. フロッピーディスクをセットします。
2. [スタート]-[ファイル名を指定して実行(R)...] を選択します。
3. [名前(0):] に「a:¥setup」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

※「a:¥」の部分はフロッピーディスクドライブパスで、お使いのコンピュータにより異なります。

4. インストーラの指示に従ってください。

## ■ 接続

パソコン側のシリアルコネクタは 9 ピンの場合と 25 ピンの場合があります。



## ■ 起動

[スタート]-[プログラム]-[US-1000]を選択すると起動し、次のようなメインダイアログウィンドウが開きます。



<動作状態について>

[Online]LED が赤色に点灯しているときは通信が可能であることを示しています。

[Monitor]LED が緑色に点灯しているときはデータを取り込み中であることを示しています。

[Receive]LED が緑色に点灯しているときはポートからデータを受信していることを示しています。

※停止条件は「Datas」であればデータ数による自動停止、

「Times」であれば実行時間による自動停止を示します。

※対象シート及び通信状態が「Unknown」の時は不明または未設定ということです。

## ■ 準備

初めて起動した場合は計測器と接続されている RS-232C 関係の通信条件と Excel のセルの範囲等を設定します。

### [通信設定]

[通信設定] ボタンをクリックすると通信に関する設定のダイアログが開きます。接続機種を選択し、RS-232C ポート、ボーレート、パリティ、データビット、ストップビット等を計測器に合わせて設定します。



ポート	計測器に接続されている RS-232C ポートを選択します。
接続機種	指定したポートに接続されている計測器の機種名を選択します。
ボーレート	1200 から 19200 ボーまでの 6 種類から選択します。 機種やハードウェアの条件等によってはサポートされないボーレートもあります。
パリティ	奇数、偶数、なしのいずれかを選択します。
データビット	6、7、8 ビットのいずれかを選択します。
ストップビット	1、1.5、2 のいずれかから選択します。

### [データ設定]

[データ設定] では取り込んだデータを格納する Excel の Book、Sheet、セル範囲などを指定します。自動停止は計測器から受け取るデータの範囲を指定します。



Book	Excel のブック名（ファイル名）をフルパスで指定します。
Sheet	Excel のシート名を指定します。
開始行	Excel のセルの開始行番号を指定します。最小値は 1 です。
開始桁	Excel のセルの開始桁番号を指定します。最小値は 1 です。
範囲行数	取り込んだデータを格納するセル範囲の範囲行数です。
範囲桁数	取り込んだデータを格納するセル範囲の範囲桁数です。
自動停止	計測器から受け取るデータの範囲を有効にするか無効にするかを選択します。チェックを入れると有効となり、指定範囲のデータを格納すると自動的に停止します。無効にした場合はユーザーが停止させます。
データ数	計測器から取り込むデータの個数を指定します。
実行時間	計測器からのデータを受け取る時間を指定します。実行中 1 つ目のデータを取り込んだ時点を開始時点とします。

## ■ 操作

### [実行]

データの取り込みは計測器の準備を行った後、メインダイアログの[実行]ボタンをクリックすると、Excel の指定セルに取り込まれていきます。取り込みが開始されるとメインダイアログの“受信データ部”に計測器から取り込まれたデータが、“セルアドレス”にデータを格納するセルのアドレスが、そして“データ数表示部”に取り込まれたデータの個数が表示されます。

### < 注意 >

実行中は Excel を操作しないでください。データを取り込むタイミングやコンピュータの性能にも依りますが、取り込みに失敗することがあります。

#### [中断]

データの取り込みを中断したい場合は、[中断]ボタンをクリックします。[実行]ボタンをクリックすると続きから再開します。[データ設定]ダイアログで[実行時間]を指定している場合、中断中でも時間は経過するため、指定時間を過ぎれば停止します。

#### [停止]

データの取り込みを中止したい場合は、[停止]ボタンをクリックします。[データ設定]ダイアログで[自動停止]を有効にしている場合でも、任意に中止することができます。

#### [終了]

US-1000 を終了するにはメインダイアログ右上の×ボタンをクリックします。US-1000 を終了させてもExcel は起動されたままになっていますので、そのままデータを加工することもできます。

## ■ アンインストール

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[コントロールパネル] をクリックします。
2. [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
3. [セットアップと削除] 画面の [US-1000] をクリックし、[削除] をクリックします。

## ■ 仕様

### 接続計測器

ユーアイニクス（株）製計測器

CU-623 シリーズ、CU-630 シリーズ、SP-571 シリーズ、SP-593 シリーズ

### 通信

ポート数	4 ポートの内 1 ポートを選択（機種等の状態により異なります）
ボーレート	600～19200（機種等の状態により異なります）
パリティ	なし、奇数、偶数
データビット	6、7、8 ビットのいずれかを選択
ストップビット	1、1.5、2 ビットのいずれかを選択
フロー制御	行いません

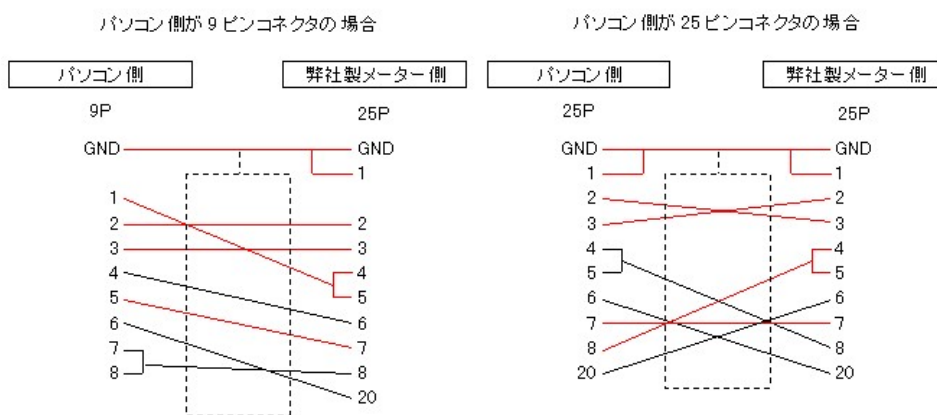
Excel

ファイル、Sheet の指定

開始行 (Row)、開始桁 (Col)、セル範囲、データ範囲の指定が可能

US-1000 → Excel へのデータ転送方法 : OLE

## ■ 接続ケーブル結線図



※赤色の信号線を使用します。

## ■ カスタマイズについて

US-1000 と Excel を組み合わせて利用することにより、データ処理機能の優れたデータロガーを構成することができます。US-1000 は弊社製計測器からのデータ取り込みには十分な機能を発揮しますが、機種によっては特殊なプロトコルで通信するような製品もあるなど、すべての機種で使用できるわけではありません。

弊社では機種に合わせた US-1000 のカスタマイズ、目的に応じた VBA プログラムによるデータ処理部分のソフト開発、Excel 以外のアプリケーションへの対応、または計測データのテキストファイル、dBASE ファイルへの出力などの変更、機能追加も行っています。詳しくはお問い合わせください。

## ■ お問い合わせ

ユーアイニクス株式会社

本社                      〒593-8311 大阪府堺市上 123-1

TEL 072-274-6001 FAX 072-274-6005

東京営業所 TEL 03-5652-8311 FAX 03-5256-8312

名古屋営業所 TEL 052-704-7500 FAX 052-704-7499

WWW <http://www.uinics.co.jp/>

e-mail [ui-info@uinics.co.jp](mailto:ui-info@uinics.co.jp)

※ 改良のため、仕様等は予告無く変更する場合がありますので予めご了承願います。